

令和8年3月17日

高橋地域会議

会長 今井 尚 様

豊田市長 太田 稔彦

市への提言に対する回答について

令和7年4月30日付けで提言された下記内容について、令和8年度以降、地域の意見を伺いながら関係機関と連携して進めてまいります。

記

1 提言内容

- 提言1 高齢者になっても安心して幸せに暮らせる地域を目指して
- 提言2 自治区活動に参加しやすい環境が整った地域を目指して

2 市の回答について

別紙1のとおり

3 提言関係

地域活躍部 地域交流課、高橋支所

【問合せ】地域活躍部高橋支所地域振興担当 加藤

電話：80-0077 FAX：80-0092

E-mail [takahashi-shisho@city.toyota.aichi.jp](mailto:takahashi-shisho@city.toyota.aichi.jp)

## 高橋地域会議の提言に基づく取組

提 言		R 8 年度以降の取組
<b>1-1 高齢者支援（共助交通）</b>		
課題	運転手不足等の社会情勢を考慮すると、今後、公共交通が充実する可能性は低く、運転免許を返納した後、買い物や通院が困難になる高齢者が増えるおそれがある。	(全体) ・ 共助交通の勉強会の実施 (自治区) ・ 希望自治区への個別支援
解決策	ボランティアにより高齢者の買い物、通院等を支援する共助交通の仕組みの導入に向けた検討と実施体制の構築	
<b>1-2 高齢者支援（地域の交流）</b>		
課題	住民同士の交流の機会が減少し続けると、高齢者同士や高齢者与其他の世代のつながりが希薄になり、孤独・孤立となる高齢者が増加する恐れがある。	<b>【支所】</b> ・ 交流イベントの検討 ・ カフェ、サロンの参加促進のための仕掛けの検討 ・ 担い手育成講座・研修会の検討 <b>【社会福祉協議会】</b> ・ サロン等の立ち上げ個別支援、フォロー ・ カフェの立ち上げ支援 ・ 情報交換会の開催 ・ 市民福祉大学卒業生の活用
解決策	定期的な交流イベントの開催、地域の特性を活かしたボランティア活動や地域貢献活動の推進など、高齢者同士、高齢者与其他世代が交流する機会の提供とその周知	
<b>2-1 担い手不足（業務負担）</b>		
課題	役員の業務負担が大きく、役員の引き受け手を選任することがさらに困難になっている。	(自治区) ・ 地域支援員による個別相談・事務支援 ・ 地域振興事務交付金の見直し R 8 人件費上昇に伴う交付金の見直し R 9 自治区依頼事務の見直しに伴う交付額の見直し
解決策	自治区事務(地区区長会含む)の運営支援	
<b>2-2 担い手不足（市の依頼事務）</b>		
課題	市からの依頼事項が多岐にわたり、本来の自治区業務運営の支障となっている。	「地域の持続可能性向上の検討」プロジェクトにおいて、行政からの依頼事項の整理が検討されている。
解決策	市からの依頼事務の見直し	
<b>2-3 担い手不足（デジタル化）</b>		
課題	デジタル化が進んでいないため、手作業による負担が続いており、業務の効率化が図れていない。	・ 地域支援員による電子申請の促進支援 ・ 地域支援員によるデジタル化への支援
解決策	自治区事務の効率化を図るためデジタル化を促進	